

湖南省第二次環境基本計画中間見直し <概要版>

1

計画の中間見直しの背景と目的

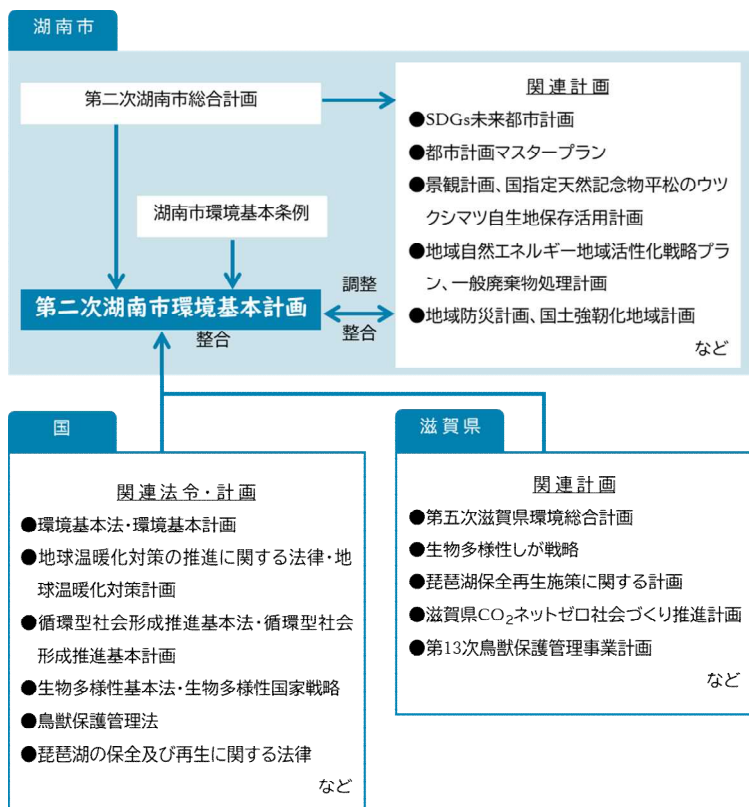
本市では、平成21年（2009年）9月に「湖南省環境基本計画」を策定し、その後、社会情勢の変化などに対応し、令和元年（2019年）10月に「第二次湖南省環境基本計画（以下、「現行計画」という。）」の策定を行い、目指すべき環境未来像「野洲川の清流 山々の景色 歴史が育むうつくし湖南」の実現に向けて、環境保全に関する施策を展開してきました。

こうした中、現行計画策定から4年が経過し、本市の環境をとりまく状況も変化してきており、社会経済・情勢の変化とともに、新たな政策が進められつつあります。加えて、本市においても、上位・関連計画の次期計画策定や改訂が進みつつあり、これらの計画との整合を図る必要があります。

現行計画は計画期間を令和元年度（2019年度）から令和10年度（2028年度）までとし、その中間期間である5年を目処に施策や目標の進捗について点検・評価を総括し、計画の見直しを行うこととしています。そのため、最新の動向やこれまでの取組の進展等を踏まえ、「第二次湖南省環境基本計画」の中間見直しを行いました。

2

計画の位置づけ



3

計画の対象範囲

項目	内容
自然環境	森林、里地里山、河川、生物多様性（動植物）など
生活環境	大気、水質、騒音・振動、悪臭、有害化学物質、環境美化 など
文化景観環境	公園緑地、水辺環境、歴史・文化財、景観 など
脱炭素・資源循環環境	地球温暖化、資源循環（廃棄物・エネルギー）、河川を軸として琵琶湖へと連なる流域のつながり（水循環） など
人づくり	環境教育、環境活動、情報発信 など

4

計画の期間



環境未来像

野
洲
川
の
清
流

山
々
の
景
色

歴
史
が
育
む
う
つ
く
し
湖
南

基本目標

1 人と自然が共生するまち



2 安全・安心にらせるまち

3 心豊かなくらしと
文化を育むまち

4 脱炭素・循環型のまち

5 こなんの未来を育む
人・地域づくり

施策の方向性

1 多様な自然環境の保全・再生

2 生物多様性の保全

3 人と自然がふれあう機会の創出

4 公害のないまちづくりの推進

5 環境美化の推進

6 水と緑の保全・創出

7 歴史・文化の保存・継承

8 地域資源の保全・活用

9 地球温暖化対策の推進

10 ごみ減量・リサイクルの推進

11 琵琶湖とのつながりを意識した
流域環境づくり

12 環境保全を担う人づくりの推進

13 環境保全を担う地域づくりの推進

14 人と地域を結ぶ体制の構築

施 策

①森林の保全・再生
③里地里山の保全と活用

②河川やため池の水辺環境の保全・再生

①貴重な生物の保全
③外来生物の対策の強化

②野生鳥獣の適正な管理

①自然にふれあう場の整備と提供

②自然の恵みの観光振興への活用

①環境公害などの継続的な監視

②公害の未然防止

①ポイ捨て行為やペットに関する
マナー対策の強化

②ごみの不法投棄と環境美化対策の強化

①まちなかの緑の整備・創出

②水辺空間の整備・活用

①歴史遺産の保存推進

②伝統文化・工芸などの保存・継承推進

①ウツクシマツ自生地 of 保全・再生
③東海道沿いの街並み景観の保全
⑤地域資源の観光振興への活用

②農村景観の保全・形成
④空き家・空き地対策の強化

①再生可能エネルギーの活用促進
③省エネルギーの促進
⑤適応策の推進

②地域自然エネルギーの観光振興への活用
④その他緩和策の推進

①3Rの推進
③農産物の地産地消の推進

②ごみ処理体制の整備

①県や近隣市町と連携した
琵琶湖流域の保全・再生

②水の適正な利用促進

①環境教育の推進
③環境に関する意識啓発の強化

②環境学習の推進

①地域組織や環境関連団体の取組推進

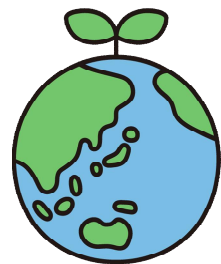
②事業者の取組推進

①環境関連情報をまとめたサイトの整備

②様々な活動主体間の連携強化

基本目標1

- 地域と連携して身近な河川やため池などの保全・再生を図ります。
- ウツクシマツ自生地などの天然記念物や希少生物の保全・保護を推進します。
- 自然の大切さを学ぶことができる機会と場を提供します。
- 市民や観光客の地域農業等に対する関心を高めます。
- 農村環境、自然環境を活かしたイベントや体験などを推進します。



基本目標2

- 大気、騒音・振動、河川水質、有害化学物質、放射線量などについて、県と連携して定期的な測定・調査を行います。
- ごみの散乱防止や不法投棄に関する啓発を徹底するとともに、地域住民や関係機関と協力して監視パトロールなどを行い、不法投棄の発生抑制に取り組みます。
- 工場・事業所などに対する関係法令に基づく規制・指導を徹底します。



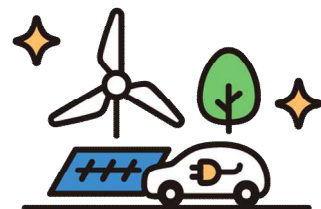
基本目標3

- 既存の公園・緑地について、地域住民と協働で維持管理を進めます。
- 指定文化財や伝統的建造物などについて、地域住民と協働で保存や修理、維持管理を進めるとともに、新たな文化財の指定や登録を検討します。
- ウツクシマツや里地里山、歴史資源などを活用して、自然環境や歴史文化を体験し学ぶエコツーリズムなどを進めます。



基本目標4

- 地域自然エネルギーに関する意識醸成を図ります。
- 市の公共施設などから排出される温室効果ガスの抑制を図ります。
- 3Rの取組普及を図るとともに、3Rの取組の推進をサポートします。
- 森林・農地・河川・琵琶湖のつながりの重要性について情報を提供するとともに、琵琶湖につながる流域の生きものや水質の保全・再生を図ります。



基本目標5

- 子どもたちが自然環境や歴史など市の多様な地域資源について体験し学ぶ機会を積極的に設けるとともに、教育内容を充実します。
- 地域組織や環境関連団体の活動がさらに充実するよう活動の場の提供や周知などの支援を進めます。
- 環境に関する情報を気軽に入手・発信するため、環境に関する情報をまとめたサイトの整備・運用を検討します。



基本目標1

- 森づくり活動や河川の美化活動などの環境保全活動に積極的に参加します。【市民】【事業者】
- 野生の草花の採取や野生動物の捕獲はむやみに行わないようにします。【市民】【事業者】
- 農林業体験や自然観察会に積極的に参加し、自然を大切にする心を育みます。【市民】【事業者】
- 農村環境、自然環境を活かしたイベントや体験に協力し、地域活性化を図ります。【市民】
- 自然とふれあえる場の整備を検討します。【事業者】

基本目標2

- たばこの吸い殻や空き缶、ごみのポイ捨ては絶対にやめます。【市民】【事業者】
- 公共交通や自転車といった環境への負荷が少ない交通手段の選択などにより、日常生活に伴う大気への負荷をできるだけ軽減します。【市民】
- 地域の清掃活動や、監視パトロールなどに積極的に参加します。【市民】【事業者】
- 排水基準をはじめ、大気環境・水質などに関する法令などの遵守を徹底します。【事業者】

基本目標3

- 家や建物の敷地、屋上、壁面に花や木を植えて、街中のみどりを増やします。【市民】【事業者】
- 地域の歴史や文化に関心を持ち、その保存・継承や、地域の歴史や文化を活かしたまちづくり活動などに参加・協力します。【市民】【事業者】
- ウツクシマツ自生地を保全する活動に積極的に協力します。【市民】【事業者】
- 市内で行われるエコツーリズムを企画したり取組に積極的に参加・協力します。【事業者】

基本目標4

- 脱炭素・循環型社会を体験し学ぶツーリズムなどに積極的に参加・協力します。【市民】【事業者】
- 夏場は積極的にゴーヤやアサガオなどを使って緑のカーテンに取り組みます。【市民】【事業者】
- 食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）を減らします。【市民】【事業者】
- 河川の生きもの調査や美化活動に参加し、森林・農地・河川・琵琶湖のつながりの重要性について関心を持ちます。【市民】【事業者】

基本目標5

- 市や県が開催する環境に関するセミナーやイベント、また、地域の自然観察会などの体験活動に積極的に参加し、環境に対する関心や認識を深めます。【市民】【事業者】
- 学校やイベントなどで学んだ環境に関する知識を、家族や友人に伝え、共有します。【市民】
- CSR活動として、地域組織や環境関連団体などの環境保全活動に積極的に参加・協力します。【事業者】

基本目標に関する指標

指標		現況値 (R4年)	目標値 (R10年)
基本目標1	①森林境界明確化実施面積	50.49ha	100ha
	②環境保全型農業直接支払交付金事業対象生産面積の割合	47%	51%
	③有害鳥獣捕獲・駆除頭数	319頭	300頭程度
	④アンケート項目「森や川などの自然が豊かである」の満足度の割合	32.5%	35%
	⑤アンケート項目「自然を体験する活動への参加」の参加割合	26.1%	35%
基本目標2	①環境保全協定の締結事業所数	153事業所 /204事業所	175事業所 /204事業所
	②不法投棄回収量	8,720kg	8,000kg
	③水洗化率	95.9%	98.0%
	④アンケート項目「ごみの3Rに努める」の割合	46.3%	50.0%
	⑤アンケート項目「道路などにごみが投げ捨てられていない」の満足度	10.3%	20.0%
基本目標3	①観光ボランティアガイド参加人数【☆3】	17人	25人
	②市民一人当たりの公園面積(都市公園等)	9.29㎡/人	10㎡/人
	③「ここぴあ」の年間売上高	169百万円	227百万円
	④観光入込客数(暦年)【☆3】	514,000人	835,800人
	⑤アンケート項目「公共の広場や公園などが充実している」の満足度	13.6%	20.0%
基本目標4	①一人1日当たりのごみ排出量(総排出量、家庭系排出量)【☆1】	737,499 g/人・日	673,495 g/人・日
	②地域自然エネルギーに関する取組の関係人口【☆2】	1,229人	3,000人
	③公共施設等への再生可能エネルギー導入量【☆2】	1,254kW	3,000kW
	④リサイクル率【☆1】	12.7%	15.4%
	⑤アンケート項目「再生可能エネルギー機器を設置している」の割合	16.0%	25%
基本目標5	①市内小・中学校の環境学習の延べ参加人数	9,385人	9,422人
	②地域まちづくり協議会が主体となる協働事業の参加者数	14,446人	40,000人
	③企業などとの連携事業の実施件数	5件/年	10件/年
	④アンケート項目「環境学習、環境保全活動を行う機会や場がある」の満足度	7.8%	15.0%
	⑤アンケート項目「環境に関するイベントへの参加」の参加割合	12.9%	20.0%

※1 アンケート項目は、毎年度の進捗状況の点検・評価を行うものではなく、計画最終年度における目標指標として設定。

※2 「☆」の指標項目は番号の重点プロジェクトの指標としても設定。

本計画の目指す環境未来像を実現するには、様々な施策を計画で示した方向性に沿って、市民や事業者の参加と協力を得ながら着実に実施していくことが必要です。このため、市民や事業者、市が連携し、集中的に取り組むことで計画全体を導いていくような先導的かつ重点的な取組を、重点プロジェクトとして位置づけます。

本計画では、以下に示す3つを重点プロジェクトとして設定し、計画を効率的に進めていきます。

重点1 うつくしこなん プロジェクト

【ねらい】 廃棄物の排出削減、地域内循環

- 【方 針】 方針1 市内食材の地産地消、食品ロス削減を推進します
 方針2 資源の有効活用を推進します
 方針3 環境美化を推進します
 方針4 うつくしこなん実現に向けた情報発信を推進します

関係の深い
施策の方向性

5 環境美化の推進

10 ごみ減量・リサイクルの推進



重点2 エコシティこなん プロジェクト

【ねらい】 湖南省らしさを活かした地球温暖化対策の普及、脱炭素社会の構築

- 【方 針】 方針1 再生可能エネルギーの普及を推進します
 方針2 市民・事業者のエコ活動を推進します
 方針3 地球温暖化対策を担う人材の育成を推進します

関係の深い
施策の方向性

9 地球温暖化対策の推進



重点3 こなんの魅力発見！発信！ プロジェクト

【ねらい】 地域資源の保全・活用、地域循環共生圏の実現

- 【方 針】 方針1 ツーリズム普及拡大に向けた体制の構築を図ります
 方針2 地域資源を活かしたエコツーリズムを推進します
 方針3 学校・大学などと連携した環境学習や地域交流を推進します
 方針4 ツーリズムに携わる人材の育成・活用を推進します

関係の深い
施策の方向性

3 人と自然がふれあう機会の創出

8 地域資源の保全・活用





ウツクシマツ自生地



常楽寺



長寿寺



善水寺



コナン市民共同発電所



下田なす



弥平とうがらし



朝国しょうが



農福連携（ソーラーシェアリング）

10

計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市民・事業者・市が連携して本計画に記載された施策や具体的な取組を進めるとともに、こうした取組を先導的に進める機関として環境審議会を位置付け、計画全体の着実な推進を図ります。

また、山林・河川や流域が対象となる広域的な施策については、国や県、近隣市町・関係機関などと連携、協力を図りながら推進します。

11

計画の進捗管理

本計画の進捗をPDCAサイクルに従って管理し、本計画の施策や取組の進捗状況、数値目標の達成状況などについて、毎年度点検、見直しを行い、次年度の取組に反映します。

第二次湖南省環境基本計画中間見直し 概要版